東京リハビリニュース

創業60周年
SELP
発行 / 社会福祉法人 東京リハビリ協会
東京都立川市富士見町 7-33-3
TEL / 042-521-1234　FAX / 042-521-1203
E-mail / ma01@trg.jp　ホームページ / http://www.trg.jp/
ホームページはこちらからご確認ください
2024 8 No.188

今号の主な記事

『生活介護報酬減』の影響と利用実態等精査により改善に繋げる ・・・1
シリーズ 36 苦言 甘言 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
赤い羽根共同募金会様から感謝状をいただきました ・・・・・・3
車両無事故・無違反・0クレームキャンペーン実施中・・・・・・・3
令和5年度事業報告・決算報告承認される ・・・・・・・・・4～5
事業所だより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定施行
『生活介護報酬減』の影響と利用実態等精査により改善に繋げる

世界ではフランスにて、〝パリオリンピック2024〟が開催され、日々流れてくる日本人選手のメダル獲得や力戦奮闘に、声を上げて喜ばずにはいられない。8月28日から開催されるパリパラリンピックには、単なるスポーツイベントで終わらない大会となることを期待したい。

さて、令和6年度は、障害福祉サービス等報酬改定が行われた。弊会で経営する3つの就労継続支援B型事業所は、大幅な報酬増となった。これまで弊会で働く利用者の方々の自立のために、就労支援事業収入が下がっても決して工賃は下げることなく、一円でも高い工賃を支給し、毎年工賃向上をしてきたことが評価された結果であろう。

しかし、同じく弊会で経営する2つの生活介護事業は、大幅な報酬減となった。理由は、これまでサービス提供時間に関わらず、報酬の基本単価は一律であった。改定によりサービスを提供する時間の長短で基本単価が大きく変更になった。

確かに一日2～3時間の利用と6～7時間の利用では、長時間により支援度は高くなる。最も高い単価は一日8時間以上9時間未満であり、5時間以上6時間未満になると6時間以上7時間未満の単価から極端に28％も下がり、更に短時間になれば大きく単価が下がっていく体系である。

そもそも生活介護事業を利用する方々は、短時間利用となるやむを得ない事情がある方が多い。しかしながら親元から離れ、多くの方がグループホームを利用し自立している実態がある。弊会はそのことを踏まえ、生活介護事業を利用する方々に、令和4年度の実績で約2万6千円の平均工賃を支給している。

将来的には法定雇用率は上がり、就職する障害者は増え、施設を利用する方は今より重度化していくことが予測される。今回の報酬減額は、現在、日中活動の場として重度の方々を受け入れている多くの生活介護事業所にとって、大きな痛手となった。

報酬改定は施行されたので、後ろ向きに考えても仕方がない。次の3年後の見直し迄、減額の影響や問題点の洗い出し、また生活介護を利用する方々の実態を改めて精査し、次なる改善に繋げたい。

（理事長 緑川 清美）

Series シリーズ 36

苦言甘言

文　責：業務執行理事 斎藤　公生
資料作成：理事・魚貝部 部長 住井　信裕

茨城県(福)白銀会主催研修会に訪ねて、逆に勉強したこと

2月21日に、セルプ協主催でセンター長研修会が開催され、シンポジウム「なぜ今問われるB型事業」のシンポジストに、上智大学教授や厚労省障害福祉課の課長補佐等と意見を述べた。

私は、主にB型の問題についてと、2006年に制度廃止になったB型の前身、授産施設の歴史を含め、多くの利用者の低工賃や低自立支援生活移行について課題提起を行った。

その結果、夜に行われた情報交換会の席上で多数の方から、同感の意見を戴いた。

当日、当会からも役員、職員等3名が出席していたので報告書が、職員に配布されたと思うので、内容を読んでいただきたい。

又、その場に出席していた一人に、知的福祉協会の生産活動・就労支援部会の活動に長年尽している、茨城県でB型等を経営している、(福)白銀会理事長の長谷川淺美氏から、茨城で本日課題に出した講演を中心に、多くの役職員の研修会を開催したい旨のお誘いを戴き、後日、打ち合わせをし、4月20日に講演することを了解した。

しかし、自身の日頃の不摂生の為4月上旬に発病し、急遽、入院することになり、その後、長谷川氏で検討下さり7月18日に、日時を設定下さり、ほぼ2月の内容で講演を実施した。

茨城のイタリアンレストラン＝多くの利用者が働いている＝

講演終了後、情報交換会が、イタリアンレストランで開催された。

自分もセルプ協の会長・副会長時代、数多くの施設を訪れたが、その中で、レストラン経営の法人を訪ねた事もあるが、今回のように本格的なレストランは初めて。

このレストランは(福)白銀会が経営している事業所である。名前は、イタリアンレストラン「**トラットリア**」(トラットリアはイタリア語で大衆向けの雰囲気を持つ家)。そして、レストランの名前は「**アグレステ**」。イタリア語で「田舎・田舎風景」と言う意味。

実際に中に入ると、300㎡位あり、なんと言っても、天井が高く8m以上もある。何回も何回も上を見たが飽きない。

又、店内から緑一色の広い庭に目を移すと、避暑地にいるような錯覚を起こす。

店内に目を移すと、殆どのサーバーは利用者さんだった。中には、今年夏の賞与で20万円を超える人も。

全国のB型利用者もこのような工賃を得られるように、役職員は頑張ってほしい。

是非ご利用下さい。

お世話になったレストランのご紹介

トラットリア・アグレステ

住　　所：茨城県石岡市鹿の子 4-1-3
(都心から車で約1時間半
常磐道千代田石岡ICから13分)
電話番号：0299-56-6198

社会福祉法人 白銀会の経営するイタリアンレストラン。地産地消を特徴とする、木材のぬくもりのある素敵なレストランで、広いお庭やドッグランの併設もあり、ワンちゃんと一緒にも楽しむことが出来ます。
自慢の石窯で焼くピザがとてもおいしかったです。

お店のHPはこちらから

車両無事故・無違反・0クレーム キャンペーン実施中

現在、法人で所有する車両は、送迎車両5台・営業車両8台・観賞魚メンテナンス車両6台・配送車両7台・その他6台等、合計32台である。

直近5年間で車両事故が34件と多発しており、事故件数も増加傾向にあるため令和6年7月より運転業務を行う職員に対し、『無事故無違反0クレーム』を目的としたキャンペーンを実施している。

①カレンダーラリーポスター掲示

ポスターを掲示し、毎週金曜日に全体終礼で周知・確認を行う。

②講習会等の実施

安全動画（DVDドキュメント事故現場）の視聴、講師を招いて安全講習会を実施する。また、検査用紙で回答する安全運転診断を行い、危険運転の可能性がある職員に個別に対応を行う。

③ドライブレコーダーの活用

ドライブレコーダーから危険運転を抽出。毎日の運転状況、急ブレーキ・急発進等の急操作を確認し、原因を突き止める。

④車両管理

車両管理の軽視が事故件数の多さに繋がるため、車両の清掃と車内の整理整頓の状況確認を行う。

以上の項目を実施し、安全運転の意識を高めてもらい、車両事故ゼロを目指していく。

（立川事業所 生産部 統括リネン部長 関根吉明）

赤い羽根共同募金様より感謝状をいただきました

弊会が赤い羽根共同募金運動に協力していることに対して、令和6年3月7日、社会福祉法人東京都共同募金会様より感謝状をいただきました。

ご利用者、ご家族、役職員、取引関係者の皆様からお預かりした募金を寄附させていただきました。

皆様のあたたかいご支援に、改めて御礼申し上げます。

（法人本部 渡嘉敷杏）

感謝状

社会福祉法人 東京リハビリ協会 様

あなたは国民たすけあい共同募金運動に深い理解を示され、社会福祉の進展に多大の貢献をされました

ここに心から感謝の意を表します

令和6年3月7日

社会福祉法人 東京都共同募金会
会長 小林 健

令和5年度（2023年）事業報告

文責：経営推進室担当
業務執行理事　斎藤　公生

社会の困難に負けない経営で工賃と自立生活移行者をアップ

ご承知の通り1964年（昭和39年）TRAの前身、無認可施設「三恵中央センター」の開設時から【親亡き後の安定した自立生活の営み】が利用者処遇方針である。

1997年（平成9年）当時の厚生省が掲げた、職住分離施策に基づき、身体障害者入所授産施設を我が国で初めて廃止し「親亡き後の安定した自立生活を営む」当時40人の利用者の平均工賃は年収約100万円であった。工賃は、自立生活を支える貴重な財源である。

30年前に、年収100万円の工賃支給

＝当時にやっと戻した工賃100万円＝

5年前の創業55周年祝賀会の時、5年後の60周年には、工賃年収を100万に戻そうと話し合った。その結果、現在TRAのB型3事業所（定員125名の平均年収）は次の通りである。

令和6年度目標
年収　960、000円
（月収80、000円）

令和6年度予算
年収　1、006、800円
（月収83、900円）

○利用者比率・法人化（1976年）⇩身体障害者100％・現在（7月1日現在）⇩知的障害者関連83・2％

利用者の多様化、重度化は著しく、開設当初は身体障害者が100％であったが、現在の利用者は知的障害者関連（知的122名、自閉症34名、ダウン症7名）が大半となっている。

その為、指導内容に始まり、作業科目の変更に基づき、生産機器配置等に苦慮している。

6月の理事会においてホテルリネン事業の縮小などを提案した。

開始から7年が経過し、役職者の技術習得問題を始め生産機器の進歩により、生産スピードの進化等が挙げられ、利用者との意志疎通時間問題による生産作業に配置の職員や利用者対策、不向きな工程の増加等に対応する為である。

近々、ホテルタオル類の手たたみ作業へ変更していく。更には、開設以来60年と言う時間の経過と共に、社会の仕組みが変化し、長年、利用者と共に歩んできた作業科目も変化が求められてきている。

例えば

・弊会開設と同時開始の病院対象の「寝具リネンサプライ業」については、市場は100％開拓済みでゼロ状態である。

・これらリネン廃材を利用し、7月から「ウエス作業」の拡大を図る6名の営業職員でチーム編成しスタートした。

・アワビの養殖及び海外からの輸入商品の安全、安心を考慮した「あわびの泥はきシステム」を開発し好評を得ている。又、東京都水産部署との共同事業による「くろあわび」養殖。

弊会で最も財政に貢献しているのは、累計43億円を売上げている「観賞魚リース事業」今年も水槽の新規開発に成功。顧客開拓に対応している。

●一番の問題は、上層部の問題

TRAの目的は、一定以上の工賃支給で、親亡き後の自立生活を、維持できる環境を事業計画で支援する事である。

生活介護利用者を加えて、約200名の利用者中104名が自立生活を営んでいる。

TRAは、自立生活者を支援し、可能な限り生活保護受給者にしない事である。

※2024年6月6日開催
理事会5年度事業報告（案）総括。

令和５年度（2023年）決算報告

財産目録

令和６年３月31日現在（単位：円）

【資産の部】

科目	金額
基本財産	1,352,825,627
流動資産	1,504,240,838
有形固定資産	521,465,898
その他固定資産	79,059,850
資産合計	3,457,592,213

【負債の部】

科目	金額
流動負債	309,660,862
固定負債	22,777,138
負債合計	332,438,000
正味資産	3,125,154,213

貸借対照表

令和６年３月31日現在（単位：円）

科目	金額
流動資産	1,504,240,838
固定資産	1,953,351,375
うち基本財産	1,352,825,627
うちその他の固定資産	600,525,748
資産の部合計	3,457,592,213
流動負債	309,660,862
固定負債	22,777,138
負債の部合計	332,438,000
基本金	335,287,080
国庫補助金等特別積立金	659,697,422
その他の積立金	44,000,000
うち工賃変動積立金	17,000,000
うち設備等整備積立金	27,000,000
次期繰越活動収支差額	2,086,169,711
純資産の部合計	3,125,154,213
負債及び純資産の部合計	3,457,592,213

事業活動計算書

(自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日)(単位：円)

科目	金額
サービス活動収益計	1,824,069,568
サービス活動費用計	1,853,834,257
就労支援事業活動収支差額	△29,764,689
サービス活動外収益計	14,547
サービス活動外費用計	88,212
福祉事業活動収支差額	△73,665
経常増減差額	△29,838,354
特別収益計	2,250,000
特別費用計	2,250,003
特別収支差額	△3
当期活動増減差額	△29,838,357
前期末繰越活動収支差額	2,116,008,068
当期末繰越活動収支差額	2,086,169,711
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	2,086,169,711

資金収支計算書

(自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日)(単位：円)

科目	金額
事業活動収入計	1,824,084,115
事業活動支出計	1,718,850,826
事業活動資金収支差額	105,233,289
設備整備等資金収支差額	△4,988,944
その他の活動収入計	0
その他の活動支出計	0
その他の活動資金収支差額	0
当期資金収支差額	100,244,345
前期末支払資金残高	1,109,127,213
当期末支払資金残高	1,209,371,558

令和５年度（2023年）福祉サービス第三者評価の受審について

令和5年度は3年に1度の福祉サービス第三者評価の受審の年となっており、評価機関の株式会社にほんの福祉ネットに評価を依頼した。

調査は立川・日の出両事業所ともに、職員自己評価並びに利用者調査について、アンケート提出と事業所訪問調査等により実施した。

利用者の皆さんからの全体的な感想として、8割以上の方が支援やサービスについて満足しているという回答だった。

また、評価機関の訪問調査により支援の取りくみについて、「複数の作業種目を用意し、利用者それぞれが力を発揮できる場を提供している」「作業のみならず、行事を通して、利用者同士のかかわりを支援している」等、評価を受けている。

今回の調査結果を活かし、サービスの向上及び課題の改善に努め、利用者の方々にとって良質なサービスの提供に取り組んでいきたい。

なお、今回の調査結果の詳細については、各事業所内に設置するとともに、弊会ホームページ(http://www.trg.jp) 内の「情報公開」のページ、とうきょう福祉ナビゲーション等にて掲載予定。

（立川事業所 利用者支援部
サービス管理責任者 課長 泉恵子）

2024年度入所式

令和6年4月1日（月）、2024年度入所式が行われた。今年度は立川・日の出両事業所共に利用者2名、職員1名の新しい仲間を迎え、期待と緊張の面持ちの中、新入所の皆さんに大きな拍手とエールが送られた。

（日の出事業所 利用者支援部 サービス管理責任者 係長 清水遼）

利用者
登貫志さん
シーツの三つ折り作業を頑張ります。働いて工賃をたくさんもらって自分の好きな事に使いたいです。

利用者
中川優祐さん
出庫場でタオルケットやシーツを運ぶ仕事を頑張ります。休みの日はイトーヨーカドーで買い物をします。

利用者
中澤玲生さん
タオルたたみなど色々なお仕事を覚えて、一生懸命頑張ります。

利用者
高瀬友妙さん
お仕事を頑張って、自分なりに成長していきたいです。

職員
阿部美涼さん
今後の目標は、利用者の方一人ひとりを考え、支援をするとともに、学びを深める日々にすることです。先輩方のご指導もいただきつつ、より良い支援ができるよう頑張ります。

職員
宮野隼之介さん
初めて体験する事が多くわからないことだらけですが、早く仕事を覚えられるよう明るい挨拶を心掛け、一生懸命頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

事業所だより

ボッチャ大会

令和6年5月に立川・日の出両事業所において、毎年恒例となっている大人気イベント『ボッチャ大会』が行われた。

開催日に近づくにつれて「今回は優勝できるかな?」「ボッチャ大会参加するからね!」と気合の感じられる様子だった。

投げるのが難しい人も職員の手作りランプ（勾配具）や職員に投げる方向を教えてもらうなど各事業所で工夫し全員が楽しく参戦することが出来るイベントとなっている。

当日の試合はほんの数センチを争う結果となり、距離を測って勝敗が決まる接戦や、圧倒的な差があっても最後の一投で形勢逆転することもあり、皆さん最後まであきらめずに取り組まれているのが印象的だった。

みんな頑張りました☆お疲れ様です♪

今年の秋にはNEWスポーツ大会、冬にバルーンスポーツという身体を動かすイベントがあるので、今回負けて悔しい思いをした方も別の形でリベンジしていただきたい。

（日の出事業所 利用者支援部 サービス管理責任者 係長 大沼琴美）

赤ちゃん誕生おめでとうございます

立川事業所 初宿汐里職員に第1子の女の子 糸郁（いとか）ちゃん誕生、おめでとうございます。

HAPPY BIRTHDAY

8月

立川事業所

安孫子　力 さん
阿部　美涼 さん
太田　洋子 さん
加藤　建樹 さん
菅野　敬一 さん
瀬﨑　大河 さん
田中　哲 さん
内藤　政和 さん
福殿　旭 さん
藤田真理子 さん
松本　健 さん

日の出事業所

雨宮ますみ さん
石山　雅子 さん
石塚　智也 さん
内田つかさ さん
榎本　淳一 さん
鹿原　俊 さん
木村　法子 さん
榊田　弘子 さん
清水　久史 さん
関根　好枝 さん
橋本　陽介 さん
浜道　英二 さん
宮野隼之介 さん

9月

立川事業所

浅見あけみ さん
遠藤　真一 さん
奥野　浩 さん
加藤　重成 さん
小浦　優樹 さん
平　和史 さん
竹平　恵一 さん
立田　哲也 さん
田所　恒雄 さん
田波多惇郎 さん
千葉　雅彦 さん
中川　優祐 さん
野本　竜也 さん
平湯　菜摘 さん
平野　幸延 さん
藤田　実 さん
水嶋　亮 さん
望月　巌 さん
山本　洋昭 さん
吉澤　和博 さん

日の出事業所

荻野　里菜 さん
甲斐　美里 さん
小林　雄太 さん
小古間勇人 さん
斉藤　直美 さん
佐藤　洋子 さん
高橋　善明 さん
中澤　玲生 さん
土方真知子 さん
平岡　香 さん
藤原　和久 さん
望月　麻美 さん
森屋　孝 さん
吉原　尚美 さん
吉田　和弘 さん

◆編集後記◆

ご意見や特集希望等、ございましたらお気軽にお問合せ下さい。（高橋章）